

2023年東京都企業春季支部大会

祝 明治安田生命野球部初優勝

小雨が降る8時30分自宅を出る。脊柱管狭窄症のため常磐線柏駅から品川駅まで50分立ったままの移動は困難である。この間は奮発してグリーン車で移動する。

品川駅からは京浜急行で大森町駅へ移動。同駅から東京ガス大森グランド球場まで距離950mで健常者は13分のところ私は小雨が降る中歩行困難の休み休み30分かかり11時に球場へたどり着いた。

6回から順位決定戦(3・4位)を観戦。4対0でNTT東日本がJPアセット証券を破る。私はJPアセット証券の健闘を称えたい。

決勝戦は小雨が降る中13時明治安田生命先行で始まる。

先頭打者福岡1塁ゴロで1死、2番新城三振2死、3番伊藤当たりのいいセンターフライで3アウト。

先発竹田投手は順調に3者凡退に打ち取り好投。試合は3回明治安田生命は6番高瀬が四球で出塁7番森川がキッチリ送りバンド1死2塁9番橋内がセンター前タイムリーで先取点。5回先頭打者6番永廣が1死からレフト前ヒット7番高瀬のレフト前ヒット1死3塁1塁のチャンスに8番森川がレフト越えの二塁打でタイムリーで永廣が2点目のホームを踏む、なお1死3・2塁9番橋内のライトフライで高瀬が3点目のホームイン2ランナーこの間3塁へ走りこむが鷺宮の中継プレーで3塁タッチアウトでスリーアウト。鷺宮製作所は7回先頭3番茶谷にソロホームランを打たれるが4～5番を打ち取り6番にヒットされるも2盗塁をキャッチャー森川が好送球で1塁ランナーを刺しスリーアウト。明治安田生命以降6回7回8回9回と

もヒットで出塁するも得点ならず。先発竹田は2安打1失点の好投。8回から石毛投手へ継投策、8回3者凡退、9回先頭打者1場にレフト前へ打たれる2番センターフライ1死3番フルカントから選ばれ四球1死次打者三振で2死、5番サードエラーで2死3・1塁のピンチ、明治安田生命は高杉投手へ継投。次打者6番をショートゴロで1塁ランナー封殺し3対1で明治安田生命の初優勝なる。

試合中盤まで小雨が降り続き肌寒い試合だったが7回ごろから日差しが差し、若干春らしさを感じ優勝の実感を噛みしめた。

優勝の歓びを感じながら観戦仲間の野球部OBの椎名開八郎さんと痛い足も優勝の薬で前に進めながら大森町駅近くの居酒屋で乾杯。

試合終了ご表彰式があり優勝旗を森主将へ。最高殊勲賞橋内選手・首位打者・打撃賞は新城選手が受賞する。(写真提供 Facebook 明治野球部応援より)

試合結果

四球	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
安打	0	0	1	0	3	1	1	1	1	8
明治安田生命	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
鷺宮製作所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
安打	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
四球	0	0	2	0	1	0	0	0	1	4

本塁打 茶谷 — 鷺宮製作所
二塁打 森川 — 明治安田生命

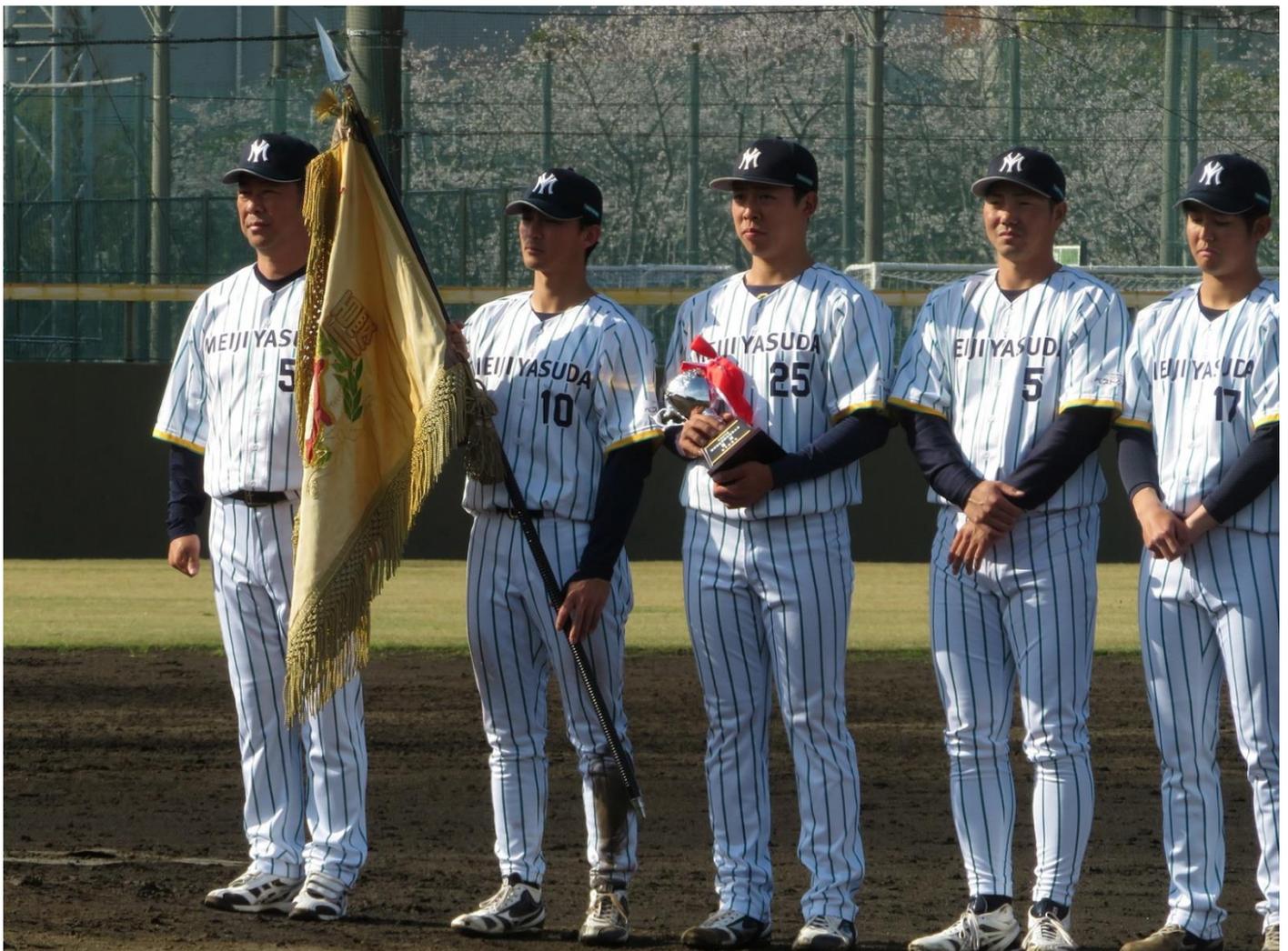
好投した投手陣

氏名	回数	被安打	与四球	奪三振	失点	自責点
竹田和真	7回	2	3	0	1	1
石毛力斗	1回 2/3回	1	1	2	0	0
高杉勝太郎	1/3回	0	0	0	0	0
	9回	3	4	2	1	1

オーダー

打順	守備	氏名	打数	安打	打点
1	3	福岡高輝	3	0	0
	3	羽根龍二	1	1	0
2	4	新城 拓	3	1	0
3	8	伊藤智也	3	0	0
	8	鈴木萌斗	1	0	0
4	7	森 龍馬	3	1	0
5	DH	南保良太郎	2	0	0
	DH	日置 航	1	1	0
6	9	永廣知紀	4	1	0
7	6	高瀬雄大	3	1	0
8	2	森川大樹	3	1	1
9	5	橘内俊治	2	1	2
		合計	30	8	3

祝 初優勝 優勝旗は森主将の手に



最高殊勲賞 橘内選手



首位打者・打撃賞 新城選手



先発 好投 竹田投手

